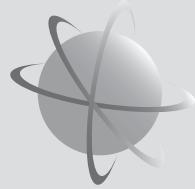


JGA NEWS



2014年(平成26年)5月 73号

CONTENTS

・トピックス

- 厚労省経済課 後発医薬品ロードマップ、モニタリングの
検討会を設置 1

- ・リレー隨想 (三津原 博) 3

・お知らせ

- CPhI Japan 2014 5
第111回日本内科学会総会・講演会 6
慢性期医療展2014・バリアフリー2014 7
5月度イベント参加予定について 8

・賛助会員から

- 株式会社パーマケム・アジア 9

- ・活動案内 10
-



厚労省経済課 後発医薬品ロードマップ、 モニタリングの検討会を設置

「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」について、厚生労働省医政局経済課が進行状況に応じて計画を見直す(モニタリング)検討会を2014年度に立ち上げる。外部の研究機関に委託する形で検討会を開き、年度内に研究機関から報告書を受け取る。報告書を参考に必要に応じて数値目標や使用促進策を見直す方針だ。

◇目標設定の見直しも想定

厚労省は13年4月、13～17年度までの5年間で後発医薬品の数量シェアを60%以上とする数値目標と目標到達のための使用促進策を盛り込んだロードマップをまとめた。ただ、途中で目標に到達しそうな場合はさらに高い目標を設定し直すほか、新たに有効な促進策が出てきた場合もロードマップに追記することにしている。

厚労省は検討会に対し、数値目標と使用促進策の実態把握、それらを踏まえロードマップの見直しが必要かどうか検討を依頼する。検討会はメーカーや都道府県、保険者、医療機関などから意見を聞き、報告書に反映させる予定だ。

◇IMSのデータも活用

後発医薬品の数量シェアを確認するには現状では2年に1度の薬価調査しかなく、次回の結果が出るのは通常なら15年12月になる。このため厚労省は、より頻繁に数量シェアの把握ができるIMSのデータも活用しながら、国際比較なども行った上で進行状況を分析するよう検討会に求める予定だ。

経済課によると、数値目標や促進策の見直しが必要な場合は年度末から次の年度にかけロードマップを見直すことになるとしている。

ロードマップには後発医薬品の安定供給、品質、情報提供など使用促進策に

について、国、メーカー、都道府県、保険者が果たす役割が記載されている。

数量シェアは海外先進国との比較を容易にするため、後発医薬品に置き換えることのできる先発医薬品と後発医薬品を分母にした新たな計算方式を採用した。目標の達成状況を適宜モニタリングし、途中で目標を達成した場合はさらに高い目標を設定する。

◇厚労省・健康づくり推進本部 後発医薬品使用促進などで工程表策定

厚生労働省の健康づくり推進本部（本部長＝田村憲久厚生労働相）は4月11日、後発医薬品の使用促進など医療費適正化策に関する局横断の5つのワーキングチーム（WT）から、2020年度までに取り組む施策の工程表について報告を受けた。

工程表の期間は、昨年政府が閣議決定した「日本再興戦略」にならい、20年度までとした。ただし、後発医薬品はロードマップに合わせ17年度までの取り組みを示し、内容もロードマップと同じ。

今後、各局は工程表に基づき予算要求を行うほか、健康づくり推進本部は適宜会合を開き、工程表通りに施策が実行されているかを確認していく。

推進本部は25年度までに医療、介護費を5兆円抑制する目標を掲げている。このうち後発医薬品の使用促進で薬剤費を1兆円抑制する方針だ。

推進本部は政府の「日本再興戦略」や「健康・医療戦略」などを踏まえつつ、予防・健康管理の取り組みを推進するため、省内各課の事業を総合的に進める体制で13年9月に設置された。

メンバーは田村厚労相、副大臣・政務官・事務次官・厚生労働審議官・担当部局長。省内横断組織として担当課長級が集まる「幹事会」と、課長補佐級による5つの作業ワーキングチーム（WT）がある。



南禅寺界隈散歩道

日本ジェネリック株式会社

代表取締役社長 三津原 博

今回は会社（日本調剤）所有の研修所「洛翠」がある京都南禅寺界隈で私のお気に入りの散歩道をご紹介しようと思う。

研修施設を購入してから二年半が過ぎたところだが、この南禅寺界隈での散歩は格別である。空気が澄んだ日、早朝の寒さの中に凜とした空気が張り詰めた独特の気持ちよさがある。何とも言えないすがすがしい一日の始まりとなる。

それでは、私のお気に入りの順路に沿って簡単にご紹介しようと思う。当社の洛翠は白川通り沿いにあり、ちょうど二条通りとぶつかったところである。ここを出て白川通りを下っていくと、すぐ左手に現在、大手家電メーカーが所有する真々庵がある。かつては、大手紡績会社の創始者である染谷寛治氏が所有し、松下幸之助氏にその所有が移ったとされる数寄屋造りの建築物と庭園である。こちらの庭園は明治時代の作庭家・七代目小川治兵衛によるもの。ここで松下幸之助氏が事業や国の将来などの思索にふけっていたのかと想像するととても厳かな気持ちになる。

さらに白川通りを下ると右手に琵琶湖疏水記念館を望む南禅寺の交差点に。交差点を左に曲がるとそこは南禅寺参道の始まり。通りの左右に雄大な松の木が並んでおり、昼間は多くの観光客で賑わい、バス、車がひっきりなしに乗り入れており、とてもんびりする雰囲気ではないが、早朝は日中の喧騒からは想像できない静けさで全く違う顔を見せてくれる。参道を進むと湯豆腐で有名な食事処が数軒、さらに進むと右手には現在、大手家具小売業の会社が所有する対龍山荘。もともとは、薩摩藩士伊集院兼常の邸宅で、現在でも当時の茶室が残されている。贅をこらした数寄屋造りの建物と日本庭園は名勝にも指定されており、こちらの庭園も七代目小川治兵衛によるもの。

さらに参道を進み南禅寺の中門をくぐり、境内に入ると目の前に「天下竜門」とも呼ばれる有名な三門が見えてくる。境内や琵琶湖疎水が流れる赤煉瓦の水路閣の付近を散策するのも良いが、私は中門をくぐった後は左へ曲がり、境内の外へ。道なりに細い路地に歩を進めると、右手に碧雲荘、左手に清流亭。碧雲荘は数寄屋造りの建築と日本庭園があり、現在は、大手証券会社が所有しており、国の重要文化財にも指定されている。その隣には美術館も併設されている。左手の清流亭は地元京都の呉服生産販売を行う会社が所有。路地からも見える垂れ桜は見事のことごとこと。是非一度ご覧になることをお薦めする。

路地の突き当たりには旧肥後藩藩主細川家の別邸であった怡園（いえん）。こちらは現在、大手制御機器メーカーが所有とのこと。高い塀からは中をうかがい知ることは出来ないが、「怡」とは楽しむとの意。庭園を楽しむことであり、さぞかし立派な庭園であるのだろう。

その突き当たりを左に曲がり、白川通りまで出ると左には当社の洛翠が見えてくる。この南禅寺界隈の散歩道、二十分から三十分かけてゆっくりと歩く。その道すがら琵琶湖から引かれた疎水の流れに耳を傾け、道から垣間見えるそれぞれの庭園に目をやり、季節の花の香りも楽しむことでとてもすがすがしく落ち着いた気持ちになっていく。一方で、これらの別荘群が作られた時に想いを馳せてみると、当時、西洋列強に遅れをとっていた日本を何とか列強に肩を並べる国へと、知恵を絞り心血を注ぎ込んでこられた先人を偲ぶと、國の為に何かを為さんとする私の志を強く後押ししてくれる。朝の凜とした空気の中で、清々しい気持ちと共に、事業への意欲をかきたててくれる散歩道である。

南禅寺近辺には、今回ご紹介出来なかった名庭園や南禅寺境内にある天授庵や南禅院、紅葉で有名な永觀堂など京都を感じる名所がたくさんある。少し足を延ばせば慈照寺銀閣に続く哲学の道もあるが、そちらのご紹介はまた次の機会に。

次号は、同仁医薬化工株式会社の小川社長にお願いします。

お知らせ

☆CPhI Japan 2014

例年通り東京ビッグサイトにおいて、4月9日～11日にCPhI Japan 2014が開催されました。3日間の来場者数は、製薬業界関係者など17,275名でした。

この展示会に、昨年同様、当協会の出展ブースには多くの国内外の来場者が来られ、名刺交換、種々の情報交換が行われました。

会期中、4月10日には、「医薬品の品質管理と安定供給に向けて：海外原薬メーカーに期待する事」のテーマで東京ビッグサイト内特別講演会場において、日本（行政、メーカー）と中国（メーカーと商社）の関係者にてパネルディスカッションが開催されました（日薬貿とG E 薬協の共催）。これには一般参加者を含め、総勢600名を超える聴講者が参加され、中国側関係者との意見交換が活発に行われました。

また、最終日の4月11日には、「“後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ”実現への対応」と題して、当協会 信頼性向上プロジェクト委員を代表して、野口 豪 氏（東和薬品株式会社 常務取締役 常務執行役員 信頼性保証本部長）より特別講演が行われました。



☆第111回日本内科学会総会・講演会

会期：平成26年4月11日（金）～13日（日） 3日間

会場：東京国際フォーラム

●展示ブース対応

総会全体での参加者数は2万人を超える規模の大会。その中で当協会の展示ブースにも数多くの先生が訪問され（3日間で約125名前後、昨年は約100名程度）、各種ジェネリック医薬品に関する質問やご意見に対応する。

以前はジェネリック医薬品に対する否定的な意見や穿った意見（とにかくジェネリックは嫌い。自分が飲まないのに患者に薦めることは出来ない、アメリカでは添加剤は先発と同じでないといけないのに、なぜ日本は違う事が許されるのか？等）を伺う事が多かったが、今回もゼロではないものの、そのような意見は薄れてきたように思われる。特に今回感じたのは「安定供給」を期待する声が多くあった事。（品切れは困る。売れなかつたら止めるは止めて欲しい等）また薬価や診療報酬に関する質問もあった。

御協力頂きました運営実施委員の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。



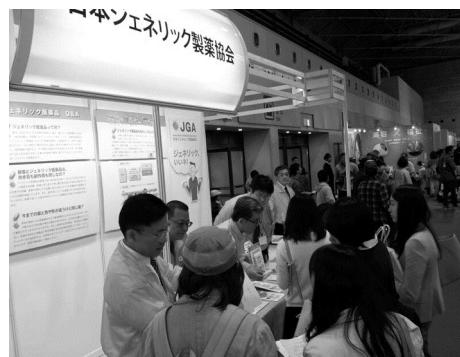
☆慢性期医療展2014・バリアフリー2014

平成26年4月17日(木)～19日(土)の3日間、インテックス大阪において、慢性期医療展2014、バリアフリー2014が開催されました。

この展示会は介護と医療の総合展示会ということで全国から病院、介護施設関係者や看護、介護関係の学生、一般の方など3日間で9万人以上が参加される非常に大規模な展示会となっています。

当協会の展示ブースでは冊子～国民皆保険制度の維持とジェネリック医薬品について考えよう！～「日本がもし1000人の村だったら」や一般向けに作成した「ジェネリック医薬品Q&A」などを中心に説明し、ジェネリック医薬品の使用意義を訴えました。

展示社数が428社と巨大な展示会場であり、また来場者の目的が介護用品等のチェックのようでしたが、その中でも医療関係者、学生、一般の方など展示ブースでの対応者は780人となり、盛会のうちに終了いたしました。



☆5月度イベント参加予定について

○慶應義塾大学 将来像セミナー【薬学部3,4年生対象】

（セミナー講師派遣）

開催日：2014年5月15日（木）

場 所：慶應義塾大学芝共立キャンパス

薬学部学生の教育の一環として、卒業後に活躍できる進路について正しい理解と求められる資質に主眼をおいた教育プログラムの一環として開催されるセミナーへ講師を派遣し、ジェネリック医薬品への啓発活動を行います。

○第61回北海道薬学大会【医療関係者向け】

（スイーツセミナー開催、展示会ブース出展）

開催日：2014年5月24日（土）、25日（日）

場 所：札幌コンベンションセンター

大会を主催する北海道薬剤師会と共に、「ジェネリック医薬品の使用促進について」をメインテーマにスイーツセミナーを開催予定です。薬剤師、薬学生、医療系学生など約100名の参加を予定しています。

また、会場内へ展示会ブースを出展予定で、情報提供システムのご紹介やジェネリック医薬品に関する質問などを承ります。

○International Conference for Generic Drug（台湾G E フォーラム）

【関係者向け】（演者派遣）

開催日：2014年5月29日（木）、30日（金）

場 所：NTUH International Convention Center（台北）

I G P Aのオブザーバー会員である台湾ジェネリック製薬協会主催の、ジェネリック医薬品に関する国際会議へ演者を派遣し、技術的なテーマや、日本市場の紹介などを行う予定です。

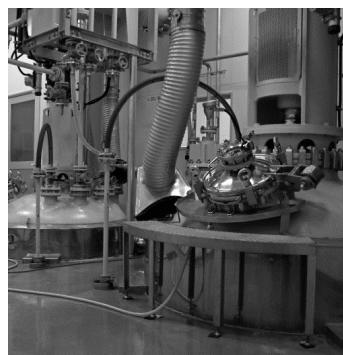
- 賛助会員から
株式会社パーマケム・アジア

JGAの皆様、初めまして。4月より賛助会員としてメンバーに参加させていただることになりました株式会社パーマケム・アジアです。

弊社は、1983年に原薬製造工場として静岡県菊川市に菊川工場を設立し、約30年原薬を製造しております。静岡県は、ご存じの通りお茶の産地で有名ですが、J G A会員の皆様は、医薬品の製造所が大変多い県と記憶されていらっしゃるのではないかと思います。弊社菊川工場は、茶畑が広がり、のんびりとした景色が広がる中の工業団地にあります。2012年には、横浜市金沢区のR & Dセンター内に、菊川工場の製品試験の一部の試験を行なう試験室を稼働させ、また、2013年には、菊川工場に精製棟を増設し、安定供給に努めております。



第4棟(精製棟)



第4棟

輸入原薬が大幅に伸びていく中、弊社は、国内原薬メーカーとしてのメリットをさらに伸ばし、信頼確保に努めて参ります。異物に対する対策、各製販業者様のニーズに合わせた対応、迅速なPMDA等の対応など国内メーカーだからできることを今後もさらに強化して参りたいと思います。

現在、国の政策としてジェネリック医薬品のシェアを60%まで引き上げるための対応が進められているところですが、弊社もジェネリック原薬を製造する会社として研鑽を積み、責任を持って、安定供給、品質確保に努めなければならないと考えております。今回JGA賛助会員として入会することができましたので、ジェネリック業界の情報に、より多く接し、医薬品の安全性、有効性を確保し、品質保証体制のより一層の向上に努め、少しでもジェネリック製薬団体の発展のお役にたてるよう精進致したいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。


活動案内
<日誌>

4月 4日	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
4月 8日	総務委員会総務部会	"
"	50周年記念事業特別委員会記念式典委員会	"
4月 9日	MR教育研修検討チーム	"
"	品質委員会残留溶媒共同作業連絡会	東京八重洲ホール会議室
"	薬価委員会幹事会	"
4月 16日	常任理事会・理事会	新大阪ワシントンホテルプラザ会議室
"	薬制委員会幹事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
4月 17日	流通適正化委員会	東京八重洲ホール会議室
4月 22日	安全性委員会幹事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	安全性委員会	東京八重洲ホール会議室
4月 23日	50周年記念事業特別委員会記念誌発行委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	文献調査委員会	"
4月 24日	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
"	総務委員会広報部会グループリーダー会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	常設委員会委員長会議	"
4月 25日	薬価委員会正副委員長会議	"
"	薬価委員会幹事会	"

<今月の予定>

5月 8日	信頼性向上プロジェクト常任委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	知的財産研究委員会	"
5月 9日	総務委員会広報部会 JGAニュース編集会議	"
5月 13日	総務委員会広報部会イベント講演グループ会議	"
"	薬価委員会正副委員長会議	"
5月 14日	MR教育研修検討チーム	"
5月 20日	総務委員会総務部会	"
5月 21日	くすり相談委員会	"
5月 22日	安全性委員会幹事会	"
"	総務委員会広報部会グループリーダー会	"
5月 27日	薬制委員会幹事会	"
"	薬制委員会	東京八重洲ホール会議室
5月 28日	常任理事会・理事会	ザ・プリンス パークタワー東京
"	第47回定期総会	"
5月 29日	薬事関連連絡会	東京八重洲ホール会議室
5月 30日	薬価委員会正副委員長会議	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	薬価委員会幹事会	"
"	薬価委員会	東京八重洲ホール会議室
"	環境委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室

/編/集/後/記/

新緑が目にまぶしく、みかんの可憐な白い花が咲き誇り、さわやかな甘い香りが庭いっぱいに漂う季節となりました。早いもので今年も間もなく半分が過ぎようとしています。早い人はそろそろ夏休みの計画を立て始めている頃でしょうか。私の夏休みは、青々とした若い果実をつけたみかんの木の手入れをするのが恒例行事となっています。いろいろな作業がありますが、愛情を注いで手入れをすると、秋から冬にかけて、たくさんのおいしいみかんが収穫できます。

さて、日本経済ではようやくデフレ脱却の兆しが見え始め、企業業績の回復やそれを受けた賃金ベースアップが報じられています。外食や商品の購入、余暇の過ごし方などにおいて、こだわりのブランドや普段よりも少し高級な事物を選好する「プチ贅沢」の気運も広がっていると聞いています。ただし、決して楽観視することなく、4月からの消費税増税の消費行動への影響と景気の本格回復に向けた道筋をしっかりと見守っていく必要があると思います。

医薬品業界においても、この4月には薬価および診療報酬の改定という大きな変革が訪れました。新制度は数量シェア60%を目指すロードマップの実現に向けジェネリック医薬品の使用を徹底的に進めていくという、政府の「本気度」が表れたものとも言えますが、私たちジェネリック医薬品業界としては、これに応えるべく品質管理や安定供給の体制整備に取り組む「本気度」を見せていく必要があると理解しています。

さらには、ジェネリック医薬品自体の一般消費者の間での認知度にも依然として課題があります。「価格の安い医薬品の品質は大丈夫？」というイメージのもと、少し高いブランド新薬を選択する「プチ贅沢」のようなパターンが浸透してしまっては、せっかくの個人消費の回復を、医療費が再び腰折れさせてしまうことにも繋がりかねません。品質面や供給面における揺るぎない信用を確立しつつ、個人として、企業として、業界団体として、ジェネリック医薬品の正しい知識の普及と使用促進にこれらかも努めてまいります。

(M. K)

■編 集

日本ジェネリック製薬協会
総務委員会広報部会

■発 行

日本ジェネリック製薬協会
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4
日本橋本町ビル7F
TEL:03-3279-1890 FAX:03-3241-2978
URL:www.jga.gr.jp